

目的		本プログラムは、自然災害に対する危機管理政策の一環として、北杜市内の自治会、公民館、生涯学習、企業、公共団体等における減災力向上を目的としています。利用は原則無料で、段階的かつ継続的に利用できますので、お気軽にご利用ください。 申込先は 北杜市総務部消防防災課 0551-42-1323							
番号	枝番	出前塾プログラム	実施内容の例		時間 (注1)	実習 (注2)	前提条件・備考		
01		家庭や地区・地域の減災力向上学習・体験プログラム	平成の災害の教訓		日本で起きた平成30年間の様々な災害から学ぶ。山梨県で想定される自然災害。阪神・淡路大震災、東日本大震災、関東大雪、熊本地震、御嶽山噴火等を例に。	1.0		ビデオ鑑賞あり	
02			関連用語から学ぶ減災の基礎知識		防災と減災、率先避難、BCP、新たな災害種・警報、安全な避難先など PITSとは、避難所のルールとマナー、減災マップ、タイムラインとは	1.5	△	クイズ形式あり	
03			いまずぐできる家庭の減災		家庭の減災力づくり、命と財産を守る整備と訓練、季節対策、暗闇対策、備蓄品、緊急時持出品、マイタイムライン、家庭内の安否確認法、感染予防の戸別分散避難	1.5	△	基礎知識を学習後 171 利用の事前申し込み	
04			家庭を取り巻く地区・地域の減災		いざという時に機能する自主防災組織とは、地区防災計画の三種の神器（人材育成、減災マップ、地区タイムライン）、諸規定例、持続可能な組織づくり、効果的な訓練例	1.5		基礎知識を学習後	
05			避難所の開設と運営		避難所の開設とは、避難所の運営とは、開設時優先機能とは、PITSの軽減化とは、（ワークショップ）1次開設機能、2次開設機能のシールと避難所見取図で机上体験	1.5		備品：見取図、機能シールはさみ、赤青のボールペン	
06			地区責任者の責務とその時		みんなが助かる地区・地域の仕組みづくり、いざという時の判断や行動について、地区責任者が身につけたい基礎知識と普段の整備について	1.0		発災後、知らなかったでは済まないための習得	
07	1	想定事態別の地区・地域の訓練	想定事態	大地震	初動行動訓練 初動（安全確保→ブレーカー断→移動）、集団避難行動、安否確認	1.0	○	集合場所でミニ研修	
	2			避難所開設訓練 公民館や指定避難場所の開設（PIT対応）、情報の収集と伝達	1.5	○	ウイルス感染予防対策あり		
	3		大雨・洪水	地区タイムライン訓練	第1段階：要配支援者優先避難訓練 第2段階：車両等の移動→避難準備→全員避難 の時系列訓練	1.0 2.0	○	事前協議とスタッフ編成、訓練プログラムに沿った実施	
	4			トイレ衛生利用	凝固剤を利用した清潔なトイレ利用法の学習と実習	1.5	○	凝固剤、黒ポリ袋、輪ゴム等	
5	総合	炊き出し	水とアルファ米の調達、炊き出し、試食（ゴミを出さない食事法）	1.5	◎	市の災害対策本部との連携			
6		親子、地区住民、各種団体等向け みんなで楽しく体験（組み合わせ可）	グッズづくり1 グッズづくり2 グッズづくり3 暗闇体験 安否確認 情報伝達 宿泊体験	新聞紙使用 スリッパづくり、ゴミ箱づくり、ラップや指定ゴミ袋で寒さ対策	1.0	◎	訓練の規模、プログラム、地区事情等によって時間が異なります。また、申込者や参加者に備品を用意していただく実習や体験もあります。		
1				牛乳パックで男子用小便器・女子用小便器づくり	0.5	◎			
2	段ボールでヘルメットづくり（2パターンあり）			1.0	◎				
3	夜間に大地震が起きて停電した事態を体験			1.0	◎				
4	参加者をグループ分けして、災害用伝言ダイヤル171を使った情報伝達訓練			1.0	◎				
5	参加者をグループ分けして、情報伝達の色と正確性を競うゲーム式（2回実施）			1.0	◎				
6	避難所の宿泊体験。開設、テント設営、炊き出し、ゲーム、学習、体操等			14.0	◎	宿泊体験時間は午後5時集合			
09	1	実践的プログラム	地区・地域向け	機能する自主防災組織づくり		機能する自主防災組織とは（机上学習）、自主防災組織規定づくり、地区事情に適した自主防災組織の編成（選択フロー図から組織化と将来構想）	1.5	○	地区の現状から将来も踏まえ、実際に組織を編成・再編
	2			地区タイムラインづくり		地区タイムライン作成、避難行動要支援者個別避難計画、緊急一時避難先の机上学習 警告性災害時の地区責任者行動計画の作成	1.5	△	2種（確認書、連絡文）の様式を使用
	3			地区減災マップづくり		ハザードマップの学習、減災マップの目的と作り方の学習 マップづくり：フィールド調査→マップ上に情報の集約→避難情報・付帯情報の検討	3.0	◎	対応地区の白地図の他、作業用備品が必要
	4			地区防災計画の策定		地区防災計画とは、地区防災計画策定のガイドラインの学習 地区事情に適した地区防災計画の策定	1.0 1.5	◎	ガイドラインからの策
	5			地域減災リーダー育成		減災に関する知識と技能を有する人材の育成（出前型、時間短縮バージョンあり）	7.0	○	市の公式認定制度に準ずる
10	1	組織団体向け	福祉施設の減災対策	対策の意義	CSR、職員行動規定、利用者規定、感染予防対策、安否確認	1.5		◇ 福祉施設の事業内容で整備や訓練が異なる。 ◇ 学校にタイムラインはない。（学習はする） 策定支援には、実費が必要	
	2			タイムライン訓練	福祉事業所のタイムラインと、周辺地区との協働訓練	?			
	3		学校・保育園等の減災対策	教育現場の対策	公助の責務、保護者の責務、保護者協働・地区協働	1.5	◎		
	4			保護者協働訓練	訓練計画表での災害種別（突発性災害時、警告性災害時）対応訓練	1.5			
	5		BCP事業継続計画の策定	BCPとは？	BCPの目的、内容、期待する効果等を学習	1.0			
	6			BCPの策定	ガイドラインに従ったBCPの策定	?	○		
11	その他、希望する研修項目		上記にない内容や、上記の一部だけまたは組み合わせで研修したい場合は、北杜市総務部消防防災課にご相談ください。また、相談や利用の申込は電話で可能です。 問合せ先・利用申込先 電話 0551-42-1323						

(注1)「時間」はかかる正味時間で、利用者の希望により短縮または一部強調などが可能です。また、正味時間は1.5時間(90分)を1単位とします。傾字は実施内容によって時間が異なります。

(注2)「実習」の欄が空白は実習なし、△は時間の10~20%が実習、○は50%が実習、◎は大半が実習 となりますが、こちらも利用者の意向で変更可能です。

(注3)原則、指導者は一人に対応しますが、2単位以上、大規模研修、訓練や参加人数により複数であたります。

指導：特定非営利活動法人減災ネットやまなし

(注4)プログラムによっては、申込者や参加者に備品等をご用意いただく場合もあります。

電話・FAX：0551-23-5656